

各室中には倒卵球形又は球形の褐色～黒褐色又は帯青黒色のつやのある種子がある。

本品は特異なおいがあり、味は辛く、後に残留性の苦味がある。

**確認試験** 本品の粉末 1.0 g にメタノール 20 mL を加え、水浴上で 5 分間加熱し、冷後、ろ過する。ろ液を蒸発乾固し、残留物に希酢酸 3 mL を加え、水浴上で 2 分間加熱し、冷後、ろ過する。ろ液を試料溶液とし、次の試験を行う。

(1) 試料溶液 1 滴をろ紙上に滴下し、風乾した後、噴霧用ドラーゲンドルフ試液を噴霧して放置するとき、黄赤色を呈する。

(2) 試料溶液 0.2 mL に希酢酸 0.8 mL を加えた液に 4-ジメチルアミノベンズアルデヒド試液 2 mL を穏やかに加え、水浴中で加温するとき、境界面に紫褐色の輪帯を生じる。

**純度試験**

(1) 果柄 本品は果柄 5.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は果柄以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 8.0 % 以下。

## ゴマ油

Sesame Oil

OLEUM SESAMI

本品はゴマ *Sesamum indicum* Linné (*Pedaliaceae*) の種子から得た脂肪油である。

**性状** 本品は微黄色澄明の油で、においはないか又はわずかに特異なおいがあり、味は緩和である。

本品はジエチルエーテル又は石油エーテルと混和する。

本品はエタノール (95) に溶けにくい。

本品は 0 ~ -5 °C で凝固する。

脂肪酸の凝固点: 20 ~ 25 °C

**確認試験** 本品 1 mL に白糖 0.1 g 及び塩酸 10 mL を加え、30 秒間振り混ぜるとき、酸層は淡赤色となり、放置するとき、赤色に変わる。

**比重**  $d_{20}^{20}$ : 0.914 ~ 0.921

**酸価** 0.2 以下。

**けん化価** 187 ~ 194

**不けん化物** 2.0 % 以下。

**ヨウ素価** 103 ~ 118

**貯法** 容器 気密容器。

## ゴミシ

Schisandra Fruit

SCHISANDRAE FRUCTUS

五味子

本品はチョウセンゴミシ *Schisandra chinensis* Baillon (*Schisandraceae*) の果実である。

**性状** 本品は不規則な球形～偏球形を呈し、径約 6 mm である。外面は暗赤色～黒褐色でしわがあり、また、ときに白い粉を付ける。種子はじん臓形を呈し、外面は黄褐色～暗赤褐色で、つやがあり、背面に明らかな縫線を認める。外種皮

はたやすくはがれるが、内種皮は胚乳に密着する。

本品は弱いにおい及び酸味があり、後に渋くて苦い。

**確認試験** 本品の粉末 1.0 g にメタノール 10 mL を加え、水浴上で 3 分間振り混ぜながら加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用シザンドリン 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5  $\mu$ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/ヘキサン/酢酸 (100) 混液 (10 : 10 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た青紫色のスポットと色調及び  $R_f$  値が等しい。

**純度試験 異物** 本品は果たぐ、果柄及びその他の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 5.0 % 以下。

## コムギデンプン

Wheat Starch

AMYLUM TRITICI

小麦澱粉

本品はコムギ *Triticum aestivum* Linné (*Gramineae*) の種子から得たでんぷんである。

**性状** 本品は白色の塊又は粉末で、におい及び味はない。

本品を鏡検するとき、球形又はレンズ形で大小不同、長径 5 ~ 60  $\mu$ m、多くは 25 ~ 35  $\mu$ m の分粒からなり、へそ及び層紋は明らかでない。

本品は水又はエタノール (95) にほとんど溶けない。

**確認試験**

(1) 本品 1 g に水 50 mL を加えて煮沸し、放冷するとき、混濁した中性のり状の液となる。

(2) 本品はヨウ素試液を加えるとき、暗青紫色を呈する。

**純度試験 異物** 本品を鏡検するとき、他のでんぷん粒を認めない。また、原植物の組織の破片を含むことがあっても、極めてわずかである。

**乾燥減量** 15.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 1.0 % 以下。

## コメデンプン

Rice Starch

AMYLUM ORYZAE

米澱粉

本品はイネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*) の種子から得たでんぷんである。

**性状** 本品は白色の塊又は粉末で、におい及び味はない。

本品を鏡検するとき、多角形で長径 3 ~ 10  $\mu$ m、多くは 4 ~ 6  $\mu$ m の分粒からなり、しばしば径 50 ~ 100  $\mu$ m に及ぶだ円形の複粒を認める。へそ及び層紋は認められない。

本品は水又はエタノール (95) にほとんど溶けない。

**確認試験**

(1) 本品 1 g に水 50 mL を加えて煮沸し、放冷するとき、混濁した中性ののり状の液となる。

(2) 本品はヨウ素試液を加えるとき、暗青紫色を呈する。

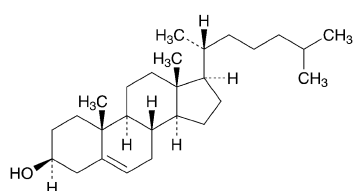
**純度試験 異物** 本品を鏡検するとき、他のでんぷん粒を認めない。また、原植物の組織の破片を含むことがあっても、極めてわずかである。

**乾燥減量** 15.0 % 以下 (6 時間)。

**灰分** 1.0 % 以下。

**コレステロール**

Cholesterol



$C_{27}H_{46}O$  : 386.65

Cholest-5-en-3 $\beta$ -ol [57-88-5]

**性状** 本品は白色～微黄色の結晶又は粒で、においはないか、又はわずかににおいがあり、味はない。

本品はクロロホルム又はジエチルエーテルに溶けやすく、1,4-ジオキササンにやや溶けやすく、エタノール (99.5) にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は光によって徐々に黄色～淡黄褐色となる。

**確認試験**

(1) 本品 0.01 g をクロロホルム 1 mL に溶かし、硫酸 1 mL を加えて振り混ぜるとき、クロロホルム層は赤色を呈し、硫酸層は緑色の蛍光を発する。

(2) 本品 5 mg をクロロホルム 2 mL に溶かし、無水酢酸 1 mL 及び硫酸 1 滴を加えて振り混ぜるとき、液は赤色を呈し、青色を経て緑色に変わる。

**旋光度**  $[\alpha]_D^{25}$  : -34 ~ -38° (乾燥後, 0.2 g, 1,4-ジオキササン, 10 mL, 100 mm)。

**融点** 147 ~ 150°C

**純度試験**

(1) **溶状** 本品 0.5 g を共栓フラスコにとり、温エタノール (95) 50 mL に溶かし、室温で 2 時間放置するとき、混濁又は沈殿を生じない。

(2) **酸** 本品 1.0 g をフラスコに入れ、ジエチルエーテル 10 mL に溶かし、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 10.0 mL を加えて 1 分間振り混ぜた後、ジエチルエーテルを除去し、更に 5 分間煮沸する。冷後、水 10 mL を加え、0.05 mol/L 硫酸で滴定する (指示薬: フェノールフタレイン試液 2 滴)。同様の方法で空試験を行う。

0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液の消費量は 0.30 mL 以下である。

**乾燥減量** 0.30 % 以下 (1 g, 減圧, 60°C, 4 時間)。

**強熱残分** 0.10 % 以下 (1 g)。

**貯法**

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器

**コレラワクチン**

Cholera Vaccine

本品は不活化した小川型株及び稲葉型株コレラ菌を含む液状の注射剤である。必要ならば単株の製剤とすることができる。

本品は生物学的製剤基準のコレラワクチンの条に適合する。

**性状** 本品は白濁した液である。

**コロソポ**

Calumba

CALUMBAE RADIX

本品は *Jateorhiza columba* Miers (*Menispermaceae*) の根を横切したものである。

**性状** 本品は円盤状の切片で、厚さ 0.5 ~ 2 cm, 径 3 ~ 8 cm, 多くは両面の中央部がくぼみ、多少反曲し、側面は灰褐色で、不規則なしわがある、切面は淡黄色で放射状に濃淡のしまがあり、粉性である。皮部はやや黄味を帯び、形成層の付近は淡灰褐色を呈し、中央部にはいぼ状の突起がある。質は堅いがもろい。

本品は特異なおいがあり、味は苦い。

**確認試験** 本品の粉末 3 g に水 30 mL を加え、時々振り混ぜながら 5 分間放置した後、ろ過し、ろ液 2 mL に硫酸 1 mL を徐々に加え、冷後、塩素試液を穏やかに加えるとき、境界面は淡赤色～赤色を呈する。

**灰分** 7.5 % 以下。

**コロソポ末**

Powdered Calumba

CALUMBAE RADIX PULVERATA

本品は「コロソポ」を粉末としたものである。

**性状** 本品は灰黄色を呈し、特異なおいがあり、味は苦い。

本品を鏡検するとき、多数のでんぷん粒及びこれを含む柔細胞の破片、コルク組織の破片、石細胞の破片、繊維の破片、代用繊維の破片、道管の破片、仮道管の破片、シュウ酸カルシウムの単晶を認める。でんぷん粒は単粒又は 2 ~ 3 個の複粒で、へそは偏在し、通例、径 25 ~ 50  $\mu$ m, 大きくても 90  $\mu$ m 以下である。

**確認試験** 本品 3 g に水 30 mL を加え、時々振り混ぜながら 5 分間放置した後、ろ過し、ろ液 2 mL に硫酸 1 mL を徐々に加え、冷後、塩素試液を穏やかに加えるとき、境界面は淡赤色～赤色を呈する。

**灰分** 7.5 % 以下。